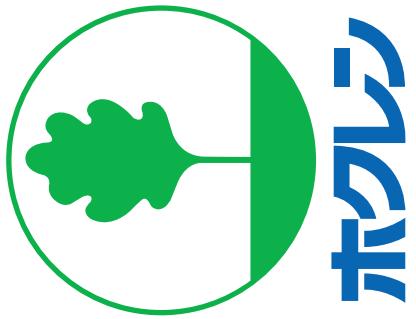


資料 1



ホクレングループレポート 2013

ホクレンホールディングス



〒060-8651 札幌市中央区北4条西1丁目3番地  
ホクレン農業協同組合連合会 <http://www.hokuren.or.jp> TEL.011-232-6108



# 実りふくらむ明日へ。

北海道の農業をもつと発展させたい。

かかわる人たちをもっと笑顔にしたい。

だからこそ、

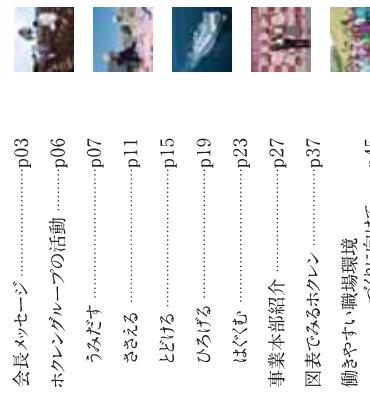
築いたものを守りながら、新しいものをうみだしていく。

今ある絆を強めながら、より広い世界とつながっていく。

大地の実りも、地域の実りも、もつともっとふくらむように

私たちは使命を果たしていきます。

## ホクレングループレポート 2013



会長メッセージ	.....p03	
ホクレングループの活動	.....p06	
うみだす	.....p07	
ささえる	.....p11	
とどける	.....p15	
ひろげる	.....p19	
はぐくむ	.....p23	
事業本部紹介	.....p27	
図表でみるホクレン	.....p37	
働きやすい職場環境	づりに向けて	.....p45
ホクレングループCSR	.....p47	
支えるマネジメント	.....p49	
ホクレングループのあゆみ	.....p49	
第三者意見	.....p50	



# 北海道の農業と地域社会発展のためにベストを尽くします。

代表理事 佐藤俊彰



## 「ステークホルダーを想い 社会に貢献

ホクレンは、1919年に前身である「保証責任北海道信用購買販売組合联合会」の設立認可を受けて以来、北海道の農業と生産者のために事業を続けてまいりました。ホクレンの使命は、生産者・JAと共に北海道農業の着実な生産振興を図り、消費者の皆さまに安全・安心で良質な食品を提供することです。

そのためには、本会の事業に関わる全てのステークホルダーの皆さまからのお支持信頼を得て、社会に貢献していくなければなりません。私たちホクレングループは、生命の源である「食」に携わることへの誇りを持ち、倫理観と使命感を忘れずに、社会に対して誠実な活動を展開してまいります。

## 「理解」「協調」「挑戦」を 常に意識

わが国の農業は、農家戸数の減少と高齢化、耕地面積の減少、さらには、東日本大震災による影響、TPPなど、さまざまな問題を抱えています。私たちはこれらの問題を解決しながら、消費者ニーズに応え、生産者・JAの皆さまの貢献に応えていかなければなりません。そこで私は役職員に対し、「理解」「協調」「挑戦」の3つの言葉を常に意識して実践していくようにと語り続けています。

大切なのは、生産現場との接点を強め、生産者の方々が抱えている問題を「理解」し、われわれがどのような役割を果たし得るかを考えることです。また、農協系統の枠を超えて、経済界や自治体、多くの消費者の方々と「協調」して課題を解決することです。加えて、農業を取り巻く厳しい環境に適応し、変化に則応するために、新たに「挑

## 〔第11次中期計画〕 5つの基本方針

- 北海道農業の持続的発展を強く推し進めるため、【生産現場の強化】に取り組みます。
- 生産性の向上や生産者ニーズに即した【営農コスト低減】に取り組みます。
- 農業所得の向上や消費者の支持獲得に向け、【販売の強化】に取り組みます。
- 生産者の利便性向上に向け、【地域密着型事業の強化】に取り組みます。
- 本会事業機能のさらなる発揮に向けた全会的な【経営基盤の強化】に取り組みます。

## 未来を見据えて 計画を推進

本会では中長期的な事業戦略を構築するため、3ヵ年の中期計画を策定しており、2013年度が第11次中期計画の初年度となります。北海道農業を取り巻く環境変化に対応するためにも、本会の担うべき役割は今まで以上に多様化すると考えています。5年後、10年後を見据えて、「本会のあるべき姿」を描き、それに向かって高い目標を具体的に掲げ、ホクレングループ役職員が一丸となって挑戦してまいります。